

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 1	
企画名	地域包括ケアと健康の社会的決定要因
日時	2017年5月13日（土） 8:45～10:15
会場	第3会場（サンポートホール高松 ホール棟 5F 54会議室）
企画責任者	長嶺 由衣子（千葉大学大学院医学研究院社会予防医学）
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>日本プライマリ・ケア連合学会では、専門医資格取得の際にポートフォリオの提出を求めている。そのテーマには、「困難症例」や「BPSモデル」を含めることになっているが、こうした患者はさまざまな社会的背景をかかえており、生物医学的アプローチや精神的ケアだけでは、解決に至らないことも少なくない。活用可能な制度の確認や、さまざまな職種との連携が不可欠であることから、患者を中心としたつながりのなかで、「地域包括ケア」を推進するきっかけが生まれることもある。本ワークショップでは、いくつかの症例を通して、地域リソースを認識し地域包括ケアにつなげる方策について討議する。さまざまな地域で活動する異なる立場・職種の参加者と共に議論し、全国の取り組みを共有する。また、地域包括ケアで実践されている手法がどのようなエビデンスに裏打ちされているかを紹介する。</p> <p>【概要】</p> <p>【概要】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 委員会の紹介・趣旨説明（5 &minus; 10分）2) 講義：健康の社会的決定要因とプライマリケア（20 &minus; 30分）3) 症例+ディスカッション+グループ（45分&times;2 90分）4) 地域包括ケアに関するSDHのエビデンス、ツールの紹介（15 &mdash; 20分）5) 総括・質疑応答（20分） <p>【参考文献等】</p> <ul style="list-style-type: none">・健康格差対策の進め方：効果をもたらす5つの視点 近藤 尚己・健康格差対策の7原則 公益財団法人医療科学研究所・社会と健康：健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ 川上 憲人/橋本 英樹/近藤 尚己 編・健康格差社会：何が心と体を蝕むのか 近藤 克則・健康の社会的決定要因（SDH） WHO 主要文書の邦訳	